

03 「カルタにして伝えたい 泉南市の魅力」を合体!!

第3回 ワークショップ



日時：平成26年12月17日(水)

10:00～12:00

場所：泉南市埋蔵文化財センター 参加人数：12名

■これまで、107 (11/19) → 193 を 71 (12/3)

前回 71 コまで絞り込んだ「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」。この日は、71個に5個のご新規さんを追加したのち、一緒にできるものを合体させて58個まで絞

り込むことができました。

何よりの成果は、読み札の作り方を皆さんで考えて決めたこと。このワークショップで「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」を、「いろは」の44個まで絞り込み、小学校に句づくりを依頼。「いろは」の振り分けは、句ができてから小学校の先生方と考えることにしました。

■カルタの作り方も、話し合い(ワークショップ)で決定しよう!

事務局の予定では、この日までに「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」を絞り込みと、それらを学校ごとに割り振りまで...と思っていたのですが、予定を変更し、カルタの作り方を話し合うことにしました。「いろは」を誰が指定したらいいのか、じっくり考えてみようとの意見があったからです。

話し合いの前提として、句をつくる小学校の先生方に確認したところ「どちらでもよい」とのこと。「いろは」を指定して句づくりを依頼してもよし、句をつくりながら先生方もふくめて「いろは」を調整するのでもよし、です。

■一番いい句をつくってから「いろは」に振りわけ。

まずは、二者択一で考えてみました。句の頭文字を絵札の文字とするか、句の途中で区切りのいいところにある文字を絵札の文字とするか、です。結局、この論点ではうまく話がまとまりませんでした。

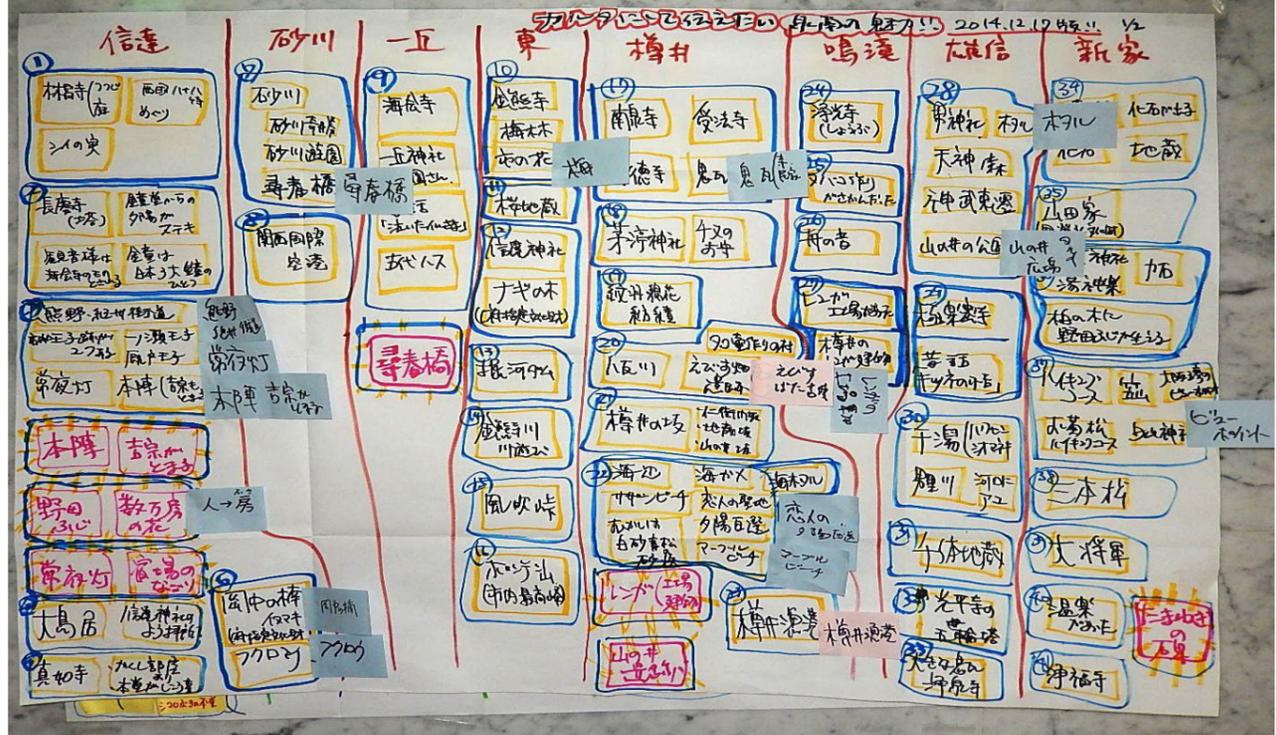
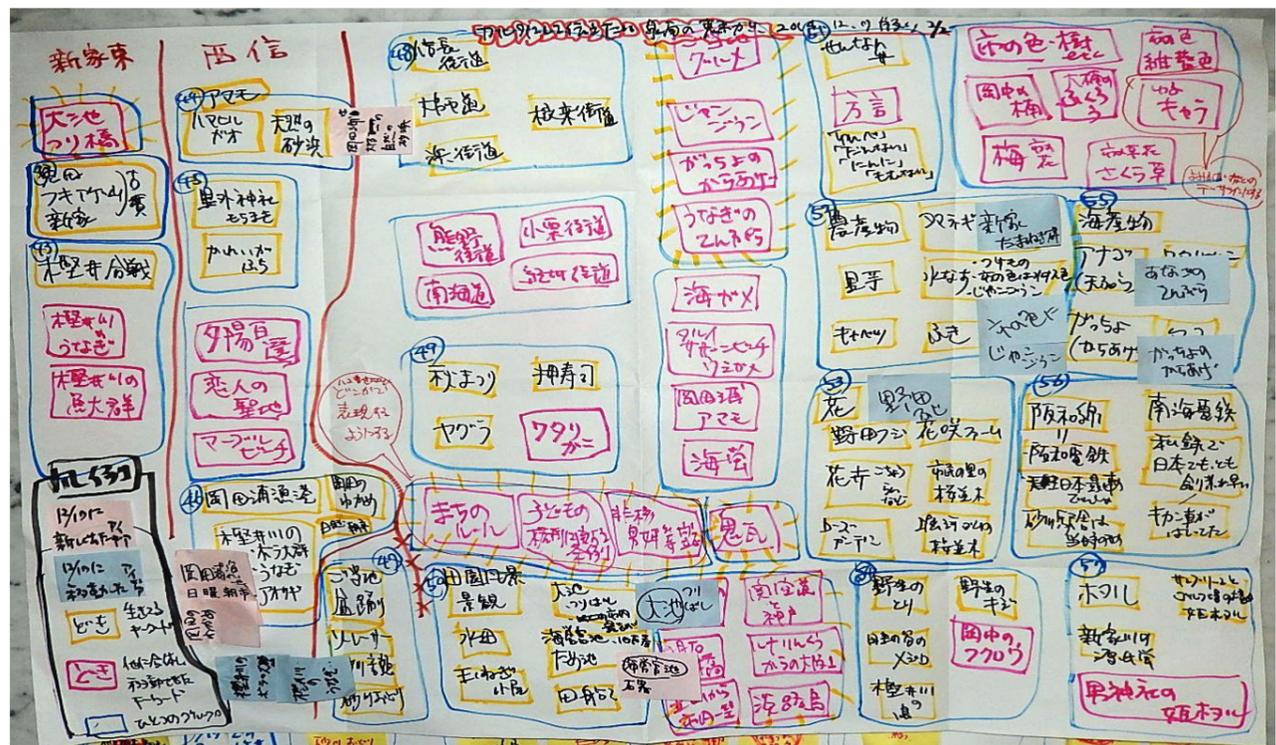
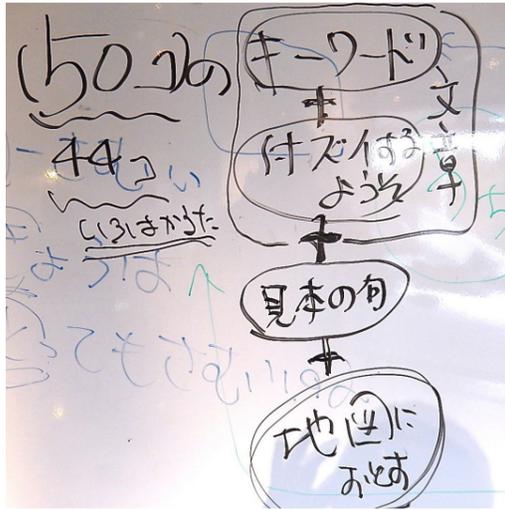
次に、何が一番大事かと考えてみました。話はずみ、もっとも尊重すべきなのが、句の作者の意図(子どもの意見)だということで意見が一致。これを最大限尊重するため、絵札の文字=読み札の句の区切りのいい単語の頭文字にすることに(以後説明が長くなるので、このやり方を「百人一首のような方式」と名付けます)。出来上がった句を最大限尊重したまま、読み札に使用することにつながるの配慮からです。

■目標は、「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」+「付随する素材」+「見本の句」+「位置図」を44個。

句作りを小学校に引き継ぐための資料の構成も話し合いました。結果、「いろは」の44個まで絞り込んだキーワードに、付随する要素+句の見本+地図上での位置をそれぞれまとめたものになりました。たとえば、「林昌寺」という「キーワード」に、「庭がキレイ、ツツジがキレイ、シイの実がある、八十八か所めぐりがある、...」といった「付随する要素」、「ツツジ庭園 林昌寺 シイの実片手に四国めぐり」といった「見本の句」、に林昌寺の位置を地図上に示すところまでがこのワークショップの目標です。

■次回、話し合いました「絵札はの構図はどうやって決めるのか?」

絵札のことも考えながら、「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」を44個に確定したり、句づくりをしないと、作画が難しくなるのではとの心配からです。これから考えるべき事柄だと思います。皆さんもどうするのが一番いいのか?考えてみてください。次回に話し合います。



■追加してから、合体させて、まとめた58の「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」(71 → 76 → 58)

作業の過程を記録するため、当日使用した模造紙を書き直したのが写真です。表記は、「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」=青の枠線、追加された「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」=ピンクの付せん、他と合体したアイデア=ピンクの文字+ピンク枠線、「合体」して加わった「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」=青い付せん、としました。

■次回以降のごあんない■

1/14(水)「小学生に引き継ぐ」
*午前10時~12時・埋蔵文化財センターにて

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789
メールアドレス: maibun@city.sennan.lg.jp

【宿題】44個まで絞り込んでみてください

これまで、「合体」させながら57個まで絞り込んだ「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」。考え方としては「追加」→「合体」→「選択」です。最後はベスト44まで絞り込みますので、次回までに「私のベスト44」を考えてみてください。

信達		砂川		一丘		東		樽井		鳴滝		雄信		新家		新家東		西信達		
林昌寺	つつじ	砂川	奇勝	海会寺跡 (国史跡)	一岡神社	金熊寺	梅林	寺	南泉寺	浄光寺	ショウブ	男神社	姫蛭	畦ノ谷	化石が出る	古墳	兎田古墳	自然の砂浜	ハマヒルガオ	
	庭		遊園		祇園さん		市の花		専徳寺	たばこづくり が盛んだった	日本書紀ゆかりの地		地蔵		フキアゲ山古墳		アマモ			
	シイの実		尋春橋		泣いた仏像の昔話	桜地蔵	受法寺		船の音	音がすれば晴れ	天神ノ森		山田家	国登録文化財	新家古墳		里外神社	王餘魚ヶ淵		
	八十八か所めぐり	関西国際空港	古代ハス		信達神社	なぎの木(府指定文化財)	鬼瓦がりっぱ(ここに限らず市内各所)		工場があった	山の井(公園)	湯神楽		櫛井合戦	-	やぐらの宮入が特徴的					
長慶寺	塔				堀河ダム			茅渟神社	チヌ(釣り)のお守り			極楽蜜寺	種河神社	カ石					わかめ	
	鐘撞堂は夕陽のビュースポット				金熊寺川遊び			綿花栽培	狐の小吉の昔話			柏の木に野田フジが生える								
	観音様は海会寺のものとしてされる				風吹峠			糸へん	紋羽			笠山								
	鐘は日本三大梵鐘のうちのひとつ				梵天山			市内最高峰	紡績			お菊松								
熊野・紀州街道	王子跡がふたつある							戒畑遺跡	タコ壺づくりのムラ(世界的な)			男里川の干潟	ハクセンシオマネキ							
	厩戸王子跡(府史跡)							八反川(湧水地が多い)	仁右衛門坂			五輪塔	鮎							ハイキングコースがた
大鳥居	常夜灯								樽井の坂	山			浄泉寺	大きな鬼瓦						
	本陣のちの八代将軍も泊まった								道祖神坂	道祖神坂			温泉があった							
真如寺	隠し部屋がある																			
楠・榎	本堂がシロ口葺き																			

い	い	街	秋	田園風				泉南弁				農産物				海産物				花				野鳥				蛭が見れる				鉄				阪和電				南海電				盆踊り				ご当地			
信長街道	大師道	浜街道	根来街道	やぐら	押し寿司	水田	ため池	玉ねぎ小屋	大池+つり橋	遺物	海宮宮池+市内最古の	田船	「ゆんべ」	「だんない」	「にんに」	「もむない」	さといも	ふき	玉ねぎ+新家の石碑	水ナス	ナスの浅漬	じゃこ(うこ)	市の色+水ナス色	アナゴ	アナゴのテンプラ	がっちょ	がっちよのから揚げ	ワタリガニ	タコ	野田フジ	花卉	ローズガーデン	花さきファーム	市民の里の桜並木	堀河ダムの桜	キシ	メジロ	櫻井川に来る鳥	岡中のふくろう	新家川	場の境目	サングリーンとゴルフ	日本最速の快速	砂川駅舎は当時のまま	私鉄で日本最古	機関車が走った	砂川音頭・砂川踊り	ソーレサー	三夜踊り	砂川音頭・砂川踊り	

「お願い」考えてみてください
 ・追加するものがないか
 ・合体できるものがないか
 ・次の機会にしたいものがないか
 *次回話し合います